

<b>A102</b> <b>初級</b> (オンライン聴講あり)	<b>研究開発と特許</b> 企業の研究開発における特許の役割 製品開発における特許法の基礎知識を解説
講師	弁理士 山本 知生 (山川国際特許事務所 元かがわ産業支援財団、香川大学客員教授、元 NTT(株) )
日程・場所	東京会場 → オンライン配信 (受講者端末) 7月23日(火)、9月6日(金)、2025年3月6日(木)
時間	半日間 (13:30~16:30)
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	東京本会場 : 24名 / オンライン 30名 (先着順申し込み)
受講料	16,000円 (税込 17,600円)
対象	研究開発者
<b>内容</b>	
企業活動において研究・開発と特許は表裏一体です。本講座では、企業の研究開発における特許の役割、製品開発において最低限知っておくべき特許法の基礎的ポイント、出願・権利取得から権利の及ぶ範囲など、丁寧に分かりやすい説明を通して幅広く基礎的な知識の習得を目指します。 企業や大学、研究所等で研究・開発に従事される方々の特許に関する基礎的な知識の習得にご活用いただける実践的なセミナーとしてご利用下さい。	
<b>プログラム</b>	
1. 特許と企業・特許と研究者 ・ なぜ特許は企業に必要なのか？ ・ 研究開発者にとって、特許とは何だろうか？	4. 敵を知る、己を知る ・ 特許公報と公開公報 ・ 特許調査をするために ・ 公報の読み方 ・
2. 守る特許、攻める特許 ・ 知財戦略とは？ ・ 特許権を取得できれば万全なのか？ ・ 特許権侵害と特許権取得	5. 知って得する知的財産 ・ 外国に出願したほうがよいのでしょうか？ ・ 特許権以外の知的財産権について
3. 特許との付き合い方 ・ 特許出願するために ・ 特許権を取得するために 「特許庁から拒絶理由通知が届いたけれど・・・」	

**【お申込み】**

当社ホームページよりお申し込みください。

本会場： URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>オンライン： URL: [https://www.jpds.co.jp/online\\_seminar/application.html](https://www.jpds.co.jp/online_seminar/application.html)**【備考】**

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

**【日本弁理士会継続研修について】**

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、オンライン聴講の場合は継続研修の認定対象外となります。